学術事業報告

学発番号：第13-066号

研修会 臨床化学免疫血清分野 研修会

日時： 2014年3月16日(土)8:30～17:00

場所： 京都保健衛生専門学校

主題1： HbA1cの基礎および測定法に関する講義

講師1： 近藤 大（協和メデックス株式会社）

主題2： HbA1c 酵素法における実技研修（吸収波長、直線性、共存物質・Hb濃度）

講師2： 中島康仁 技師（松下記念病院）

和田哲 技師（和歌山県立医科大学附属病院）

南部昭 技師（京都府立医科大学附属病院）

近藤 大（協和メデックス株式会社）

藤本一満 技師（ファルコバイオシステムズ総合研究所）

中村美保 技師（ファルコバイオシステムズ総合研究所）

参加数： 総人数40人（正会員33人）

報告者： 後藤 直樹（京都保健衛生専門学校）

以下、講演内容など

今年で5回目の実技研修会となる、みやこ研修会を実施しました。今年協和メデックスより試薬提供を受けて、HbA1c酵素法の研修を実施しました。午前中は協和メデックスの近藤氏にHbA1cの基礎、測定法の講義をしていただき、その後、実験に必要なモル吸光係数、試薬成分・HbA1c濃度等の計算を行なった。午後からは、3人1組に別れ、指導者が2組に1人つき、最終的に未知試料の測定まで行なった。参加者も3人1組で協力仕合い、指導者も2組に1人がつく形で、質問もしやすい研修会となりました。普段は、自動分析装置に頼った検査をしている参加者も、実際用手法での測定を通じ、試薬組成、濃度計算、2ポイント法などの分析の基礎についても学べる研修会となりました。自動分析装置での測定となっている中、改めて基本に戻り、測定原理の理解を深める機会となりました。

の影響、未知試料の測定等)